



2023年度 ICT教育センターからのお知らせ (新入生向け)

- ICT教育センターについて
- 情報モラルと情報倫理
- 学内ネットワークの利用について
- コンピューター実習室について

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターのホームページ、問い合わせ

■情報モラルと情報倫理

情報モラル、情報ネットワーク利用遵守規定・罰則規定、ICTの落とし穴、迷惑メール・フィッシングメールについて、情報モラルと情報倫理に関する資料

■学内ネットワークの利用について

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）
Microsoft 365/Webメールについて
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン、
学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

■コンピューター実習室について

コンピューター実習室の利用における注意点
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの環境について
コンピューター実習室/図書館場所、パソコン一覧と利用時間、
他サービス

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターのホームページ、問い合わせ

■情報モラルと情報倫理

情報モラル、情報ネットワーク利用遵守規定・罰則規定、ICTの落とし穴、迷惑メール・フィッシングメールについて、情報モラルと情報倫理に関する資料

■学内ネットワークの利用について

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）
Microsoft 365/Webメールについて
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン、
学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

■コンピューター実習室について

コンピューター実習室の利用における注意点
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの環境について
コンピューター実習室/図書館場所、パソコン一覧と利用時間、
他サービス

ICT教育センターについて

本学の情報ネットワーク、コンピューター実習室/図書館/
講義室のパソコン、講義室マルチメディアを管轄している部署

お知らせや利用できる環境などが変更になったら、
ICT教育センターのホームページやSUMS-POを通じて連絡します

本学のホームページの下方の「学内施設案内」を探し

本日説明資料もホームページやSUMS-POにて公開します

問い合わせ

■ICT教育センターが管轄する部分の問い合わせ

ICT教育センターのホームページ参照

メール問い合わせ ict-center@suzuka-u.ac.jp

千代崎キャンパス：庶務課

白子キャンパス：白子事務部

■SUMS-PO、ZOOM、learningBOX についての問い合わせ

教務課

白子事務部教務課

■講義に関すること 講義担当教員

5

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターのホームページ、問い合わせ

■情報モラルと情報倫理

情報モラル、情報ネットワーク利用遵守規定・罰則規定、ICTの落とし穴、迷惑メール・フィッシングメールについて、情報モラルと情報倫理に関する資料

■学内ネットワークの利用について

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）
Microsoft 365/Webメールについて
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン、
学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

■コンピューター実習室について

コンピューター実習室の利用における注意点
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの環境について
コンピューター実習室/図書館場所、パソコン一覧と利用時間、
他サービス

6

情報モラルと情報倫理

■情報モラル

ルールを遵守する必要がある。年々法の整備を進んでいる
知らなかったではすまない

■情報ネットワーク利用遵守事項

学内ネットワークを利用するということ
家庭とは違うということも意識する

■ICT（情報通信技術）の落とし穴

まず被害者にならないように注意する
加害者にならないように注意する

■迷惑、フィッシングメールについて

迷惑メール、フィッシングメールは最近、大変巧妙になっておりますので
十分に注意してください。

■情報モラルと情報倫理に関する資料

各人でも勉強する必要がある

7

情報モラル

情報倫理



■インターネットの利用と情報倫理

インターネット社会で、人々がネットワークを利用して
お互いが快適な生活をおくるための規範や規律

ホームページ書き込みのマナー

- ①公序良俗に反する内容はさける。
- ②他人を誹謗中傷しない。
- ③差別用語を使わない
- ④他人の個人情報をださない
- ⑤自分の詳細な個人情報をださない

■情報倫理についての基本的事項

法律：電子計算機損壊等業務妨害罪、不正アクセス禁止法、著作権法等
学内：情報ネットワーク利用規程/情報ネットワーク利用遵守事項

■個人情報保護法

目的：

個人情報の流出や不正使用を防ぐ

個人情報とは

個人に関する情報で、住所・氏名・生年月日・メールアドレス・ID・パスワード等、
個人を識別できるもの

医療分野では

患者さんに関する情報すべて、医師の診療所見、検査結果、レントゲン写真など

8

情報ネットワーク利用遵守事項

学生要覧やICT教育センターのホームページ

- ✓ 公序良俗に反する行為をしないこと
- ✓ 他人のプライバシーを侵害しないこと
- ✓ 特定の個人や団体を誹謗中傷しないこと
- ✓ 営利を目的とした行為をしないこと
- ✓ 法律、学則が定めることに違反しないこと
- ✓ 他の利用者に迷惑もしくは損害を与える行為をしないこと
- ✓ 不正に他人のメールアドレス、パスワードを使用しないこと
- ✓ 自分のネットワークアカウントを他人に使用させないこと

罰則規定

以下の事項に該当する場合、センター長は、不正利用者に改善を求めるとともに事由によっては、事態が改善するまでの間、利用資格の取り消しまたは使用禁止等の措置をとることができる。

- ・利用者が情報ネットワーク利用遵守事項、その他のネットワーク利用に関わる諸規定に反した場合
- ・本学または外部のネットワークシステムに重大な損害または不利益を与えた場合
- ・ネットワークの円滑な運用を妨げる行為をした場合
- ・その他、センター長が必要と認めた場合

9

ICT（情報通信技術）の落とし穴

フィッシング詐欺、ワンクリック詐欺、不当請求詐欺、偽警告、偽通販サイトなどの犯罪行為が横行しています。これらの被害にあわないように十分に注意してください。

さらにSNS利用するうえでの注意点などがあります。SNSの炎上など加害者になる場合もあるので、十分に注意してください。

注意事項

- ・安易なダウンロードはしないこと
- ・不審に思われるサイトには近づかないこと
- ・クレジット番号などの個人情報をむやみに入力しないこと
- ・不審な添付ファイルは開かないこと
- ・迷惑（スパム）メールは、興味本位で開かずに、そのまま削除すること
- ・振り込め詐欺は、電話・郵便物等で通知される巧妙な文書に惑わされて、振り込め手続きをしないこと
- ・SNSに公開するということは世界中に公開するということを今一度確認一度書いて（載せて）しまったものは消せないということ

10

迷惑メール、フィッシングメールについて

最近、迷惑メールが頻繁に届き、その記載内容も巧妙になってきています。例えばGoogle、Apple、Facebook、Amazon.com、Microsoft、日本郵便、宅急便、各省庁など多くの方が利用されるサービスをかたって迷惑メール、フィッシングメールとして送信されます。

- ・知らない人からのメールについては、原則、読まずに無視。又は、破棄することを徹底してください。
- ・特に、知っている人からのメールであっても添付ファイルや文中にあるリンクは不用意にクリックしないでください。
- ・また、ウイルスに感染する危険性が高いことを認識し、日ごろから頻繁にバックアップをとるように心がけてください。

本学では、ファイアウォールでウイルス対策を行い、Microsoftの迷惑メール自動分類や自動検疫を行っています。しかし、これらは、ウイルスパターンファイルを見てその中に該当する事項があれば怪しいとしてはじく仕組みであり、パターンファイルに登録されていないものはすり抜けてきます。また、メールの意味までは確認しておらず、システムで迷惑だと判断しても本当は必要なものであることがあります。このことからシステムで余り厳しくブロックすると情報が届かないことがあり、どちらを重要と考えるかは判断が分かります。

上記の3つは、ネットワークを利用するものにとっての基本ルールだと考えて対処してください。

誤ってウイルスに感染してしまった場合は、

1. ネットワークから切り離す。
2. 影響範囲や問題を特定する。
3. リカバリ方法や対策を講ずる。

が一般的な手順ですが、わからない場合はICT教育センターに相談してください。

ICT教育センターにはスタッフがいないので、リカバリ作業をすることはできませんが、相談には応じます

11

情報モラルと情報倫理に関する資料

下記資料も参考にしてください。自分でも学ぶということが大切です。

- ・国民のためのサイバーセキュリティサイト（総務省）
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/kokumin/index.html
- ・インターネットの安全・安心ハンドブック（内閣サイバーセキュリティセンター）
<https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html>
- ・情報セキュリティ・ポータルサイト（情報処理推進機構：IPA）
<https://www.ipa.go.jp/security/kokokara/>



12

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターのホームページ、問い合わせ

■情報モラルと情報倫理

情報モラル、情報ネットワーク利用遵守規定・罰則規定、ICTの落とし穴、迷惑メール・フィッシングメールについて、情報モラルと情報倫理に関する資料

■学内ネットワークの利用について

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）
Microsoft 365/Webメールについて
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン、
学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

■コンピューター実習室について

コンピューター実習室の利用における注意点
コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの環境について
コンピューター実習室/図書館場所、パソコン一覧と利用時間、
他サービス

学内ネットワークの利用について

■認証サーバー（ユーザー名とパスワード）

コンピューター実習室/図書館パソコン、Microsoft365 Webメール、Web認証、SUMS-POの複数のサービス同じユーザー名とパスワードで利用できる **自分でしっかり管理**

■Microsoft365（旧称Office365）/WEBメールについて

Microsoft365の利用について
学内・学内（自宅等）で利用できるメール
メールアドレス→学生番号@st.suzuka-u.ac.jp

■コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン

コンピューターを利用する講義や自習等で利用できる **制限下利用**

■学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）

学内ネットワーク認証サービス
無線LAN、無線LANの利用できる場所
IEEE 802.1X認証の接続方法について、公衆無線LAN

■連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

科目の履修登録、履修科目の時間割、休講・補講などの変更連絡の確認
定期試験に関する連絡、成績の確認、授業資料（配布資料）
レポートの提出、授業に関するQ&A

認証サーバー （ユーザー名とパスワード）



学生の場合は、入学時にユーザー登録され利用することができます。

配付 学科別オリエンテーションで配付（予定）

鈴鹿医療科学大学
SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

認証サーバーのユーザー登録
保健衛生学部放射線技術科学科
HR09000 鈴鹿 太郎

ユーザー名 HR09000 パスワード abc123
ユーザー名は二文字 ユーザー名は二文字
ICT教育センター発行

【学内ネットワーク利用上の注意事項】

- ①このユーザー名とパスワードで下記のサービスが利用できます。
-コンピューター実習室/図書館/講義室パソコン
-Microsoft365(メール等)
-ICT教育センター実習室システム
-無線LAN(IEEE802.1X認証/Web認証)
-連携サービス(教務システム等)
- ②ご利用の際は、ユーザー名st.suzuka-u.ac.jpです
- ③利用できる範囲は学内です。
在学期間中のみご利用ください。休学・退学・卒業後は利用できなくなります。
転入・卒業・退学・休学・退学等の場合は、事前に申請書の提出が必要です。
- ④パスワードは、個人で管理し、定期的に変更すること。
- ⑤パスワードが書き換え/複製/盗用された場合は、再発行手続きを必ず行ってください。
- ⑥再発行の手続きは、再発行申請書が利用できます。
- ⑦再発行の手続きは、再発行申請書が利用できます。
- ⑧再発行の手続きは、再発行申請書が利用できます。
- ⑨お問い合わせは
-学生センター/保健衛生学部
-保健衛生学部放射線技術科学科
-教務システムについて教務課、日子事務課/教務課

パスワードは仮パスワード

■パスワードの変更方法

- 1.コンピューター実習室/図書館/講義室のパソコンでログオンする。
- 2.Ctrl + Alt + Deleteキーを押す。
- 3.[パスワードの変更]ボタンをクリックする。
- 4.古いパスワードと新しいパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。

パスワードの変更は、学内PCからのみ可能です。Microsoft365（旧称Office365）サインイン後のパスワード変更画面ではパスワード変更できませんので、ご注意ください。

Microsoft365（旧称Office365）について



本学では、Microsoft社のクラウドサービスであるMicrosoft365を2021年3月に全学的に導入し、2022年3月末より、Web版のWord、Excel、PowerPointとOneDriveの利用できるようになり、本学のメールアドレスを持つ学生・教職員であれば、誰でも無料で利用することができます。

2023/3/6（月）より順次、本学で契約の範囲で利用できる下記のサービスが利用できるようになります。

サービス名としてはSharePoint、Teams、Sway、Forms、Stream、Power Automate、Power Apps、Visio、School Data Sync Yammer等です。ただしパソコンにインストールして使用するデスクトップアプリは利用できませんので、ご注意ください。

〇サポートについて：

Microsoft365（旧称Office365）は、様々なサービスの集合体であり、膨大な機能が準備され、そのサービス内容は、絶えず更新されているため、Microsoft365（旧称Office365）の使い方や文書の形にまとめることは不可能です。Microsoftの公式サポートページ <https://support.office.com/> をはじめ、インターネット上には多くの情報が公開されています。自分で情報を収集し、自分なりの活用法を構築してください。

なお、Microsoft365（旧称Office365）のサービスはMicrosoft社が提供するサービスで、ICT教育センターのサービスではありません。そのため、サービス内容に関するお問い合わせ、各種設定に関するご相談、障害発生時の対処等については、サポートできる人材がおらず、対応ができません。すなわち、Microsoft365（旧称Office365）ポータルにサインインした後の利用方法やトラブル等に関する御相談・御質問をお受けすることができません。ご了承下さい。

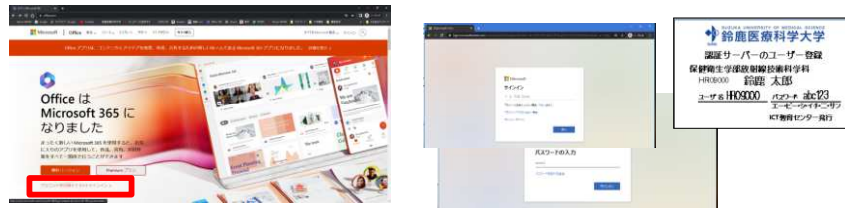
Microsoft365（旧称Office365）へのサインインができない場合は、学内設定に原因がある場合がありますので、その場合に限り、ICT教育センターにご相談下さい。ただし、個人でMicrosoft365に登録する場合に、大学のアカウント（メールアドレス）を使用して登録すると、区分は大学（組織）になります。アカウントの登録時には間違わないようにお願いします。

Office 365 Education は学外で提供されるサービスです。セキュリティやプライバシーについては十分に考慮されていますが、学内のシステムやサービスと同様に考えると、公開してはいけない情報を全世界に公開してしまうや予期しない不具合や問題等が生じる可能性もあります。個人情報等の扱いについてはご注意ください。また今回様々なサービスが利用できることで既存システムとの影響が出る場合があります。その際は、サービスを停止・制限させていただく場合もあります。特に複数名・多人数が関わったものを利用する場合は、学内外の影響等も十分検討・検証を行ってください。

Webメールについて (Microsoft365 (旧称Office365))



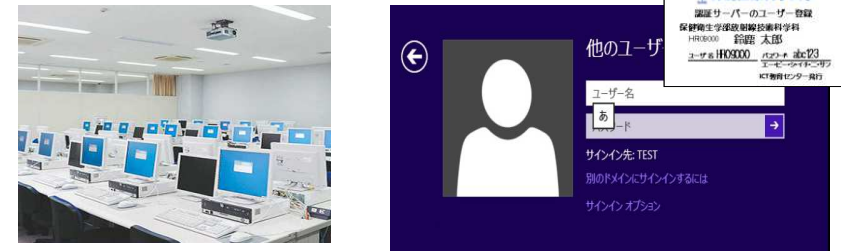
サインインページ (<https://www.office.com/>)



- ブラウザを使ってメールを送受信することができます。
- インターネットが使えるところならばどこでも使えます。
- メールアドレスは、各人ごとに割り当てられています。
教員の場合：
ユーザーID@suzuka-u.ac.jp 例：abc@suzuka-u.ac.jp
- このメールは、Microsoft の複数のアカウントで使われているようです。どのアカウントを使いますか?とメッセージが出た場合は、職場および学校アカウントを選択してください。
- 具体的な利用方法については、ICT教育センターのホームページをご確認ください。

17

コンピューター実習室/図書館/講義室 パソコン



- パソコンを起動し、次の画面でユーザー名（学生番号）とパスワードを入力します。
- 利用が終了したり、席をはなれる場合は、必ずシャットダウン
- データは、サーバーに保存しておく、どの場所、どのパソコンからでも利用できます。
- 仮想デスクトップ環境で動作し、ソフトなど主要な部分はサーバーで実行されることや教職員・学生も利用することもあり、再起動したら、環境がリセットされます

利用の仕方・注意点については後で説明 18

学内LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)



学内LAN (有線、無線) は、一般的なインターネットとは異なります。一般的なものよりはセキュリティが高い。そのため利用できないサービスもあります。詳細はホームページ手順書ネットワークを確認

■学内ネットワーク認証サービス (IEEE802.1X認証/Web認証)

学内ネットワークを利用する際、特定の方以外が利用する場合、認証をしようとして利用できます。認証については、無線LANにおいては、主に IEEE 802.1X認証を利用いただき、有線LANについてはWEB認証を利用してください。

ただし、両方とも認証については、パソコン・スマートフォン等のOSのアップデートにより不具合やセキュリティレベルがあがることで利用できない場合があるので、注意して下さい。

- IEEE 802.1X認証
認証サーバーのユーザー名とパスワードで利用する認証方式です。
- WEB認証

有線LANや172.16.*.*系で固定IPを取得している方、共用パソコンやIEEE 802.1X認証をできないものだけに利用する形にしてください。ブラウザ起動時にWEB 認証にて認証サーバーのユーザー名とパスワードを入力してください。一度ログインすると認証は12時間保持されますがネットワークを切断した場合の認証が求められる場合は、再度認証をお願いします。

WEB認証が利用できる場所でWEB認証画面が表示しないや証明書エラーが表示される場合は、下記アドレス入力してWEB認証画面が表示させることができます。
<http://10.10.10.10/>
特にmacOSでの有線接続時にこのような現状を確認しております。またブラウザやOSのアップデートでも可能性があります。



19

学内LAN (学内ネットワーク認証サービス/無線LAN)



■無線LANについて

無線LANのSSIDは下記の通りです。
O1_SUMS⇒IEEE 802.1X認証 (5GHz)
O2_SUMS⇒IEEE 802.1X認証 (2.4GHz)
O3_SUMS⇒WEB認証 (5GHz /2.4GHz)

学内無線LANで固定IPアドレスを利用している方はSSID「O3_SUMS」の切り替えをお願いします。SSIDのO1_SUMS (5GHz) で接続した方が、通信が安定します。O1_SUMSが表示されない場合は、2.4GHzしか利用できないので、O2_SUMSを利用してください

O3_sums (WEB認証) のパスワードは [] です。SUMS-PO経由で連絡します。もしSUMS-POを利用できない場合は、関係部署で確認をしてください

また無線LANを利用する場合は、すべての無線LAN機器が更新されていないことや無線通信そのものが様々な原因で利用できない場合が起こると考えられます。実施する前には、事前に検証等を行ってください。

特に、ZOOMやYouTube等を使用し、各人のパソコン・スマートフォンを利用して映像の送受信を教室で一斉に行う場合など、大量の通信を行う場合は、保証ができません。

■無線LANの利用できる場所

千代崎キャンパス
各講義室、コンピューター実習室、B 講義棟ラウンジ、学生ホール
学生食堂、図書館、学生ラウンジ、JART 1Fホール
白子キャンパス
1号館 (各講義室、情報演習室)、3号館 (各講義室、自習室)、
4号館、6号館 (各講義室、ラウンジ)
学生食堂、図書館、学生ラウンジ、講堂 (一部)

20

IEEE 802.1X認証の接続方法について



Windows用

ネットワーク名 (SSID) : 01_SUMSの場合

タスクバーのWi-Fiアイコンをクリックします。→「01_SUMS」を選び「接続」をクリックします。→
認証サーバーのログインと同じユーザー名 (@以降は入力しません)、パスワードを入力し「OK」をクリックします。
→次の画面で「接続」をクリックします。→ (Wi-Fiアイコンをクリック) 「01_SUMS」が「接続済み」と表示されたら接続完了です。



使用OS: Windows 11

有線LANや172.16.*、*系で固定IPを取得している方、共用パソコン
やIEEE 802.1X認証をできないものは、WEB認証にて利用してください。

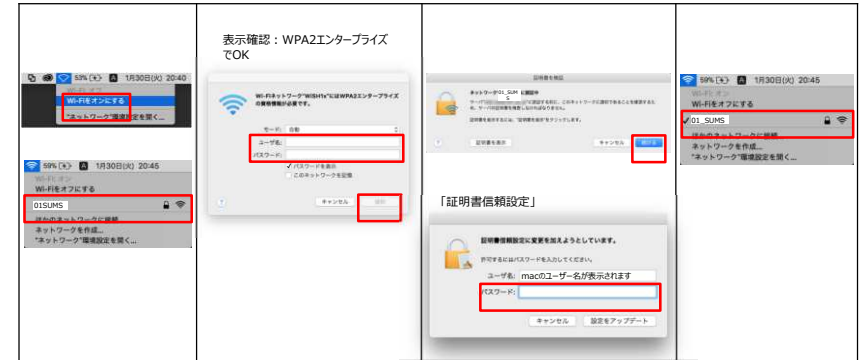
IEEE 802.1X認証の接続方法について



MacOS用

ネットワーク名 (SSID) : 01_SUMSの場合

メニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。→「Wi-Fi: オン」をクリックします。→一覧の中の「01_SUMS」をクリックします。→
認証サーバーのログインと同じユーザー名 (@以降は入力しません)、パスワードを入力し「OK」をクリックします。→
次の画面で「続ける」をクリックします。→ (「証明書信頼設定」の画面が表示された場合は、お使いのMacのユーザー名とパスワードを入力し「設定をアップデート」をクリックしてください。
)
Wi-Fiアイコンをクリックします。→「01_SUMS」の左にチェックがついていたら接続完了です。



使用OS: macOS

有線LANや172.16.*、*系で固定IPを取得している方、共用パソコン
やIEEE 802.1X認証をできないものは、WEB認証にて利用してください。

IEEE 802.1X認証の接続方法について



iOS (iPhone/iPad) 用

ネットワーク名 (SSID) : 01_SUMSの場合

ホーム画面の「設定」をタップします。→「Wi-Fi」をタップします。→「Wi-Fi」を「オン」にし、一覧の中の「01_SUMS」をタップします。→
認証サーバーのログインと同じユーザー名 (@以降は入力しません)、パスワードを入力し「接続」をタップします。→
証明書が出るので「信頼」をタップします。→「01_SUMS」の左にチェックがついていたら接続完了です。



使用OS: iOS

有線LANや172.16.*、*系で固定IPを取得している方、共用パソコン
やIEEE 802.1X認証をできないものは、WEB認証にて利用してください。

IEEE 802.1X認証の接続方法について



Android用

ネットワーク名 (SSID) : 01_SUMSの場合

メニュー画面の「設定」をタップします。→「ネットワークとインターネット」の「Wi-Fi」をタップします。→Wi-Fiスイッチを「ON」にし、一覧の中の「01_SUMS」をタップします。
→EAP方式に「PEAP」を選択、CA証明書に「システム証明書を使用」を選択、証明書のオンライン検証に「検証しない」を選択、ドメイン名に「sz2103.suzuka-u.ac.jp」を入力、
認証サーバーのログインと同じユーザー名 (@以降は入力しません)、パスワードを入力後に下部にスクロールし「接続」をタップします。
→「01_SUMS」の下に「接続済み」と表示されたら接続完了です。Android 11の場合フェーズ2認証をMSCHPv2にしないと設定できない場合もあります。

Androidについては、メーカーによって調整を加えたり、Androidをベースに独自に行っている場合もありますので画面や用語など異なる場合があるのであらかじめご了承ください。
もしどうしても難しい場合は、WEB認証を利用してください。



使用OS: Android 12

有線LANや172.16.*、*系で固定IPを取得している方、共用パソコン
やIEEE 802.1X認証をできないものは、WEB認証にて利用してください。

公衆無線LAN



au Wi-Fi(公衆無線LAN)

KDDI 株式会社の「au Wi-Fi SPOT」が学内に設置されました。
同サービス加入者はこのアクセスポイントを使ってインターネットに接続できます。

●利用場所

【千代崎キャンパス】

- ・学生食堂(研究厚生棟)
- ・学生ホール(研究厚生棟)
- ・学生ラウンジ(B 講義棟)

【白子キャンパス】

- ・食堂(サビオパート II 白子地上)
- ・談話室(1号館1階)
- ・講堂(ホワイエ)

●利用方法

au Wi-Fi SPOT の利用法などは

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/wifi/wifi-spot/>
をご覧ください。

au契約端末(スマートフォンなど)は
申込み不要で無料でインターネットに
接続できます。

docomo Wi-Fiサービスの提供終了
サービス提供終了：2022年3月31日

25



連携システム（教務システム） 鈴鹿医療科学大学ポータルサイト「SUMS-PO」

<https://sumsportal.suzuka-u.ac.jp>



- ・科目の履修登録
- ・履修科目の時間割
- ・休講・補講などの変更連絡の確認
- ・定期試験に関する連絡
- ・成績の確認
- ・授業資料（配布資料）
- ・レポートの提出
- ・授業に関するQ&A

携帯電話からはQRコードを利用してください
<http://sumsportal.suzuka-u.ac.jp/m/>



ZOOM、learningBOXについても大学のメールアドレスを利用しています。
2023年後期から新システムに変更予定です。

SUMS-PO、ZOOM、learningBOXについては教務課、白子事務部教務課に問い合わせください。

26

説明内容

■ICT教育センターについて

ICT教育センターのホームページ、問い合わせ

■情報モラルと情報倫理

情報モラル、情報ネットワーク利用遵守規定・罰則規定、
ICTの落とし穴、迷惑メール・フィッシングメールについて、
情報モラルと情報倫理に関する資料

■学内ネットワークの利用について

認証サーバー（ユーザー名とパスワード）
Microsoft 365/Webメールについて
コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコン、
学内LAN（学内ネットワーク認証サービス/無線LAN）
連携システム（教務システム：鈴鹿医療科学大学ポータルサイト SUMS-PO）

■コンピューター実習室について

コンピューター実習室の利用における注意点
コンピューター実習室/図書館/講義室/パソコンの環境について
コンピューター実習室/図書館場所、パソコン一覧と利用時間、
他サービス

27

コンピューター実習室について

POINT

このような状況下なので制限下で利用できます。

『新しい大学生活の行動ルール(改訂版)_2022.3.10』から

4. パソコンが設置してある教室について
5. 附属図書館について（両キャンパス）（一部）

■コンピューター実習室の利用における注意点

実習室は、講義や自習などで利用する場所ということ意識して利用

■コンピューター実習室/図書館/講義室の環境について

家庭などとは違う環境

利用開始の注意点、利用できるソフトウェア、利用終了の注意点
CD-ROM/DVD を利用について、動画モードについて、他
プリンタについて

■コンピューター実習室/図書館場所、一覧と利用時間

千代崎キャンパス コンピューター実習室（3部屋） 図書館、学習室
白子キャンパス コンピューター実習室、自習室、図書館

■他サービス

実習室の時間割、プリンタの利用、実習室のソフトウェア、
大学ファイルサーバー

28



・新しい大学生活の行動ルール（改訂版_2023.3.3）から

4. パソコンが設置してある教室について
5. 附属図書館について（両キャンパス）（一部）

4. パソコンが設置してある教室について
- (1) パソコンが設置してある教室を使用する前に、以下のようにパソコン機器等の清掃・消毒をした上での利用を心掛けてください。
 - ① 教室付近に設置されたアルコールスプレーを、持参したティッシュペーパーに吹き付ける。
 - ② アルコールを浸したティッシュペーパーで、キーボード、マウスを拭く。
 - ③ 拭き取ったティッシュペーパーは、ビニール袋などに入れ、封をした状態で携帯する。封をしたビニール袋は、下校時にゴミ箱へ捨ててください。
 - (注) パソコン等は精密機器のため、直接アルコール等を吹きかけることのないよう、取り扱いには細心の注意を払ってください。
 - (2) 窓や扉は開けたままにし、分散して着席してください。（自備マーク席は使用不可）
廊下の中が混雑するようでしたら、廊下の外でお待ちください。
 - (3) 利用は、試験期間および授業日の**平日9時～19時**とし、パソコン使用後は、すみやかに退室してください。
 - (4) 以下を利用してください。
千代崎キャンパス_実験・実習棟3階コンピュータ実習室とA講義棟1階グループ学習室
白子キャンパス_3号館2階L-Lab
 - (5) 手洗い・うがい、咳エチケット、そして、常にマスクを着用してください。
5. 附属図書館について（両キャンパス）
- (1) 分散して着席してください。（自備マーク席、および自備ゾーンは使用不可）
 - (2) パソコンはOPACで蔵書検索・データベース利用・プリンター印刷に限り使用可とします。
 - (3) 貸出返却の際は検閲を避け、学生証・本は手渡しを必ずカウンターに置いてください。
 - (4) カウンターにお並びの際は、前の人と距離を空けてください。
 - (5) 図書館は紙なので消毒ができません。入・退館時に設置の消毒液を利用の上、各自で予防をお願いたします。
 - (6) 手洗い・うがい、咳エチケット及びマスク着用をお願いします。
 - (7) **平日9時～21時、土曜日10時～17時**を開館しますが、利用後はすみやかに退館して



コンピューター実習室の利用における注意点

実習室は、講義や実習などで複数の人が共有で利用する場所です。よって下記のようなことに注意してください。

- ・他人の迷惑となるような行為は行わない
- ・利用時間は、平日**09:00～19:00**までです
講義等使用していない限り、利用可能です
土曜日、休・祝日、休校時等は利用できません
- ・図書館については図書館利用およびスケジュールに従ってください
- ・**飲食厳禁**
- ・椅子の整理整頓を行う。
- ・勝手に別のソフトをインストールしたり、設定変更を行わない
- ・プリンタには印刷枚数の制限があるので、その範囲で利用すること
- ・ICT教育センターのホームページを見ること
- ・情報ネットワーク利用規定(学生要覧)を順守すること
- ・席を離れるときはシャットダウンをすること



コンピューター室・情報演習室を講義で利用する際の注意点

- ・コンピューター室・情報演習室は、感染症対策を行ったうえで教員の管理下のもと講義で利用できます。
- ・講義で利用する場合は、全体の案内にあるようにマスクを必ず着用し間隔をあけて着席するとともに換気をかならず行ってください。
- ・自習目的の場合は、千代崎キャンパスの 実験実習棟3Fコンピューター実習室やA講義棟1Fグループ学習室、白子キャンパス 3号館3F L-labを利用してください
- ・利用が終了した場合、窓は必ず閉めていただき部屋の施錠もお願いします。



コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの利用について

コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンは仮想デスクトップ環境で動作し、ソフトなど主要な部分はサーバーで実行されます。全体の利用を想定し各人が設定変更をおこなうことをさけるため**シャットダウン時、ログオフ時、再起動時、初期の設定にもどるよう**に設定されています。

また仮想デスクトップの切断時には、**5分間設定が保持されます**。誤って切断してしまった場合、**再度接続すれば、そのまま利用できます**。

Active Directoryでの統合認証においてユーザーレベルでの管理もおこなっており、家庭などとは違った環境になっております。よって**ユーザーがソフトウェアをインストールしないでください**。また、**デスクトップなどに保存したデータも削除されます**。

保存にあたっては、大学ファイルサーバー（共有フォルダ）やUSBフラッシュメモリ等をご利用ください。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ■ 利用開始の注意点 | ■ 利用できるソフトウェア |
| ■ 利用終了の注意点 | ■ CD-ROM/DVD を利用について |
| ■ 動画モード | ■ VMware View Clientのタスクバー |
| ■ 常設PCの発表者ビュー | ■ 講義室 画像配信システム |
| ■ プリンタについて | ■ 講義室パソコンのZoom の対応 |



コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの利用について

■利用開始の注意点

パソコンの電源ボタンを押してシステムを起動させ、サインイン（ログイン）すると、VMware View Client というソフトが動き、仮想デスクトップにも自動でサインインします。同じような画面が2回表示されますが、エラーではありません。また、誤って切断してしまった場合はVMware View Client をクリックしてください。



■利用できるソフトウェア

利用できるソフトについてはICT教育センターのHPで確認してください。講義室パソコンにおいては、2016年後期より物理側でもMicrosoft officeが利用できます。ただし、デスクトップおよびドキュメントに保存されたデータは、再起動時またはシャットダウン時に削除されます。仮想デスクトップを利用しない場合は、そのままで切断してください。講義・実習等で利用される場合は半期に一度、設定やソフトの要望を調査し、設定しています。詳細は、別途アナウンスまたは問い合わせください。（教職員のみ）



コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの利用について

■利用終了の注意点

終了時は常設PCの電源ボタンを押して終了してください。もしくは、仮想デスクトップを×で切断した後、物理側のデスクトップにあるシャットダウンアイコンで終了することもできます。利用終了時には、仮想、物理側両方とも終了してください。
***教卓制御パネルの電源OFFと講義室パソコンの電源は連動していません**



■CD-ROM/DVDの利用について

常設PC本体のCD-ROM/DVD を利用する場合は、メディアを入れた後にデスクトップにある「CD ドライブ接続」アイコンをダブルクリックしてください。メディアの内容が表示されると利用できる状態です。但し、音楽CD や動画DVD などでは内容が表示されず、使えない場合もあります。講義室の場合Blu-ray/DVD など音声・動画ファイル利用する場合は、教卓内の左下にあるBlu-ray/DVD プレイヤーを利用してください。必ず事前に確認をお願いします。



コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの利用について

■動画モードについて

2016年後期より動画モードと通常モードを統合しました。これにより通常モードで動画をみることができます。ただし、ファイルによっては困難な場合もあります。必ず事前に確認をお願いします。

■VMware View Clientのタスクバーについて

左上のアイコンをクリックすることで常に表示、アイコンを移動した際に表示することができます。

■常設PCの発表者ビュー（スライドショーの際のノート表示）について

常設PCについては、システムの仕様上、利用することができません。物理端末については、起動時に発表者ビューが表示されますので発表者ビューの上部のタスクバーで「表示設定」を選んで、「発表者ビューとスライドショーの切り替え」を選んでください。持ち込みPCについては利用できません。

■講義室 画像配信システムについて

一部の講義室で画像配信システムについて利用できます。詳細については、ICT教育センターの手順書を確認のうえ利用してください。手順書のみで不明な箇所がありましたらご連絡をお願いします。

■講義室パソコンのZoomの対応について

2021年2月より、講義室パソコンでZoom が利用できるようになりました。図書館/実習室のパソコンがZOOM のアプリがインストールされていますが、こちらは、未検証ですので利用しないでください。詳細はICT教育センターのホームページをご確認ください



コンピューター実習室/図書館/講義室パソコンの利用について

●コンピューター実習室のプリンタについて

ICT教育センターでは情報リテラシー教育をはじめとする科目や自習目的のためコンピュータ実習室を整備しております。またプリンタを制限枚数以内であればプリントアウトすることが可能です。通常、コンピュータを利用する講義・実習・演習などを支援する目的として整備されており、それ以外の目的で利用や制限枚数を超過して印刷する場合は、有料プリンタサービスの利用や各自・各研究室で印刷をお願いします。

プリンタの印刷枚数制限:半期300ポイントになります。
半期は4月～8月、9月～3月をそれぞれ半期とします。

なお利用できる用紙は、A4サイズ、カラー/モノクロのみになります。これ以外の用紙サイズは、紙詰まりの原因になりますので利用しないでください。

印刷枚数確認は、印刷枚数確認ページ（学内専用）で確認してください。
<http://prsv.sz2103.suzuka-u.ac.jp/login>

ポイントについては、モノクロは1枚1ポイント、カラーは1枚5ポイントとして計算されます。両面印刷をした場合のポイントは両面をそれぞれ計算すると、表裏が1枚1ポイント、裏面はその半分の1枚0.5ポイントです。表のみを印刷し、裏が白紙の場合は1ポイントですが、裏に何か印刷があると両面1枚で1.5ポイントとなります。カラーの場合は、表が1枚5ポイントで裏がその半分の1枚2.5ポイントです。トナー一紙の予備は全体でも交換・補充していますが、トナー一紙が切れて利用できない場合、部屋にも置いてありますので各自交換・補充してください。どうしても難しい場合は別のプリンタで印刷してください。また紙は、部屋から持ち出さないでください。

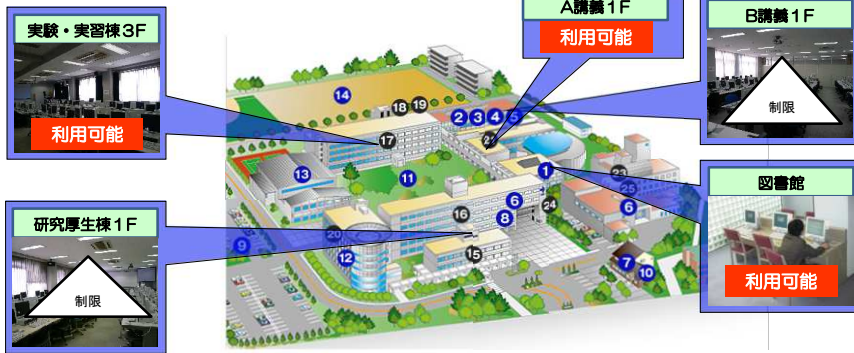
●コンピューター実習室の代替プリンタ機能について

実習室で2台プリンタがある場所（千代崎キャンパスの研究厚生棟、実験実習棟、白子キャンパスの情報演習室）で代替プリンタの機能が利用できます。代替プリンタは、プリントできないと判断する条件の時、もう1台のプリンタに出力されます。具体的には、印刷しようとした時、紙詰まり、オフライン、トナー切れ、カバーが開いている、電源オフ、用紙切れ等です。ただし印刷途中でエラーの場合は、代替プリンタ機能は実行しません。不要であればプリンタ本体の「プリント中止」のボタンを押して再度印刷等を行ってください。

2023年後期から新しい形態に変更予定です。詳細は別途連絡します。

制限下で利用

コンピューター実習室/図書館の場所 (千代崎キャンパス)



- | | | | | |
|----------------------|--------------|--------------|------------------|-------------------------|
| 1. 図書館 | 5. コンピュータ実習室 | 10. 売店 | 15. 管理棟 | 21. A講義棟 |
| 2. B講義棟 | 6. 学生食堂 | 11. 中庭 | 16. 研究・厚生棟 | 22. 東洋医学研究所・鍼灸センター(治療院) |
| 3. 学生ラウンジ | 7. 軽食喫茶 | 12. 健康管理センター | 17. 実験・実習棟 | 23. JART記念館 |
| 4. マルチメディアシステム機器対応教室 | 8. 書店 | 13. 体育館 | 18. 実験棟 | 24. キャッシュコーナー(三重銀行) |
| | 9. 駐車場 | 14. グラウンド | 19. 動物舎(実験・実習棟裏) | 25. 健康食品管理士認定協会 |
| | | | 20. 大学院棟 | |

制限下で利用

コンピューター実習室/図書館の場所 (白子キャンパス)



- | |
|-----------------|
| 11. 実習・実験棟(5号館) |
| 12. 薬草園 |
| 13. 多目的広場 |
| 14. テニスコート |
| 15. 芝生広場 |
| 16. 駐車場 |
| 17. 2号館 |
| 18. 3号館 |
| 19. 4号館 |

制限下で利用

コンピューター実習室/図書館パソコン一覧 利用時間や台数



キャンパス	部屋名	利用時間	パソコン台数	プリンタ台数	
千代崎キャンパス	研究厚生棟1F コンピューター実習室	平日 09:00~19:00	70	2	制限
	実験実習棟3F コンピューター実習室		60	2	利用可能
	B講義棟1F コンピューター実習室		70	2	制限
	A講義棟1F グループ学習室		4	1	利用可能
白子キャンパス	1号館2F 情報演習室		76	2	制限
	3号館2F 実習室		20	1	利用可能

千代崎キャンパス	図書館	図書館の利用時間	22	1	利用可能 (一部)
白子キャンパス	図書館		13	1	利用可能 (一部)

故障やメンテナンス等による台数が増えることはあります。 39

2023/3/28

他サービス



ICT教育センターのホームページ→コンピューター実習室にも掲載
(実習室前掲示、ホームページ)

■実習室の時間割について

講義等で利用していない限りは利用可能
利用状況はSUMS-POで確認

■実習室ソフトウェア一覧について

利用できるソフトについてはICT教育センターのHPで確認してください。
実習室前掲示、ホームページ

■大学ファイルサーバーの利用について (ホームページ)

実習室で利用する場合はマイコンピュータに学科共通 (Hドライブ) と個人 (Zドライブ) のものが利用できる

学科共通	: 学科の共有のフォルダ 教員から提供データやグループでの作業
個人	: ホームページのお気に入り 個人的なデータ

どこの実習室でも、どのパソコンでも同じように利用できる

問い合わせ

■ICT教育センターが管轄する部分の問い合わせ

ICT教育センターのホームページ参照

メール問い合わせ ict-center@suzuka-u.ac.jp

千代崎キャンパス：庶務課

白子キャンパス：白子事務部

■SUMS-PO、ZOOM、learningBOX

についての問い合わせ

教務課

白子事務部教務課

■講義に関すること

講義担当教員